United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization

UNESCO Associated Schools

平成２７年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成２７年４月～平成２８年３月

１．学校概要

学校名　気仙沼市立津谷中学校

種　別　☐保育園・幼稚園　☐小学校　☐小中一貫教育
☑中学校　☐中高一貫教育　☐高等学校
☐教員養成　☐技術/職業教育
☐特別支援学校　☐その他（　　）

所在地　〒９８８－０３４１
宮城県気仙沼市本吉町津谷桜子２番地

E-mail　tsuya-chu@kesennuma.ed.jp

Website

児童生徒数　男子　８１名　女子　６３名　合計　１４４名
児童・生徒の年齢 13 歳～15 歳

２．実施活動（複数選択可）

☐　地球規模の問題に対する国連システムの理解
☐　国際理解
☐　世界遺産
☐　平和・人権
☐　環境
☐　気候変動
☐　生物多様性
☐　エネルギー
☐　防災
☐　食育
☑　伝統文化
☐　そのほか（　　）

３．活動内容

（１）１年間の主な活動内容について

① 活動の特長

津谷地区では，無形民俗文化財（市指定）の山田大名行列や打ち囃子など，地域住民の伝統文化の継承・保存活動が盛んであり，各種祭りの実施等において地域コミュニティーが機能してきている。しかし，地域社会が過疎化，高齢化が進み，継承断絶の危機が大きな課題になってきた。このことを受け，持続可能な地域社会を考え，若手継承者の育成に取り組む視点から下川内けんばやし保存会と協働で伝統芸能「御岳太鼓」伝承活動を実践してきた。

平成２７年度は，生涯学習の基礎を培うための地域人材を生かした協働実践を継続しながら，生徒のコミュニケーション能力や表現力，地域に貢献しようとする態度を養わせるねらいで，第１学年で地域を知る探究学習，第２学年で地域の人々とかかわる実践活動，第３学年で地域社会に貢献する奉仕活動を行った。

② 活動の概要

第１学年では，「地域を知ろう」というテーマのもと，興味・関心に基づいた課題を設定し，班ごとに探究活動を行った。地域調べでは，神社の宮司さんや文化財保護審議委員の方々を講師に招き話を聞くことで地域の歴史について理解を深めた。まとめの活動では，学習したことを新聞形式にまとめ，班毎に発表した。班ごとの学習内容を全体で共有することで，地域のことについての理解を深め，次年度に行う御岳太鼓の活動の意欲付けとなった。

第２・３学年では，下川内けんばやし保存会の方に指導していただきながら，御岳太鼓の演奏に取り組んだ。運動会や文化祭に加えて，津谷地区の夏祭り「まんぼうサンバ祭り」へ出演し演奏することで，地域社会に貢献する活動となっている。

③　実践の成果

第１学年においては，地域の課題を取り上げ，実践を伴う課題解決学習に取り組むことで，地域のことをより深く知ることができた。学習活動の要所に地域人材を活用し，専門知識に触れることで，一層の興味・関心が高まり，探究活動の深まりと行動力の伸長につながった。

第２，３学年においては，地域の伝統芸能伝承に関わる課題を考えながら学習活動を進める中で，学校行事での演奏発表ばかりでなく地域のイベントへ出演することにつながった。地域の行事に参加することで，地域から認められ，生徒は成就感や満足感を感じ，地域社会に貢献しようとする意識が高まった。

今後も，地域伝統文化についての学習及び伝統芸能継承活動を本校のＥＳＤの主軸として，伝統を守りながら地域社会に貢献していこうとする意識を高めていきたい。

（２）活動時間について（下記から選択して下さい。）

☑　通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
☐　時間外活動の時間を使用
☐　ユネスコクラブの活動として実施
☐　その他（　　）